

戦評用紙

大会名	第71回国民体育大会夏秋季大会県予選会兼第43回東北総合体育大会山形県予選会
-----	--

日時	2016年7月17日13:30～	区分	山形県体育協会
----	------------------	----	---------

チームA				チームB
Yamagata Kubera				吹浦クラブ
77	30	1Q	20	79
	7	2Q	30	
	26	3Q	16	
	14	4Q	13	
		延長		

【戦評】

金のユニフォームYamagataKuberaは#3・14・34・35・55、一方白のユニフォーム吹浦クラブは#9・15・27・32・19のスターティングメンバーで試合開始。

第1Q、両チームともハーフコートマンツーマンディフェンス。金#55がシュートを決めると、白も#32がシュートを決め、白#32が3ポイントを決めると、金も#35が負けじと3ポイントを決める展開。両チームとも序盤から激しいディフェンスで意地と意地のぶつかり合い。ディフェンスの激しさから青は開始6分、白は残り2分でチームファール5つとなる。そんな中、金は#14、34、35がコンスタントに得点を決め、終了間際には金#14の3ポイントブザービートが決まり、30-20と青が10点リードで終了する。

第2Q、金は#3・14・22・29・35、白は#15・19・27・32・48でスタート。1Q同様に攻めたかった金であったが、白のディフェンスの前に思うように攻められない。対する白は、ディフェンスで相手のミス誘い連続ブレイクにより残り5分で33-33の同点に追いつく。その後も白の猛攻は続き、白#27の速攻からの逆転のシュートが決まったところで、金が1回目のタイムアウト。タイムアウトでゲームを立て直したかったが、その後得点は奪えず、逆に白に3ポイント3本を決められるなどして、50-37の白が13点リードで試合をひっくり返し終了。

第3Q、金は#3・14・34・35・55、白は#1・8・9・19・33でスタート。開始3分までは、互いに得点し合う。ディフェンスは互いに激しさを増す。開始4分に白のチームファールが4つとなり、金#14が速攻を決めたところで、白がタイムアウト。立て直しを図りたい白だったが、金の攻守により得点を奪うことができず、逆に青に得点を重ねられその差を縮められる。66-63と白が3点リードで3Qが終了する。

第4Q、金は#14・22・29・34・55、白は#8・19・27・32・33でスタート。開始2分間互いに得点できずにゲームが進む、先に得点したのは白。しかし、金もシュートが決まり始め金#34の3ポイントシュートで、72-70と一時13点あった点差を逆転する。残り2分、白#15の激しいディフェンスでミス誘い、ブレイクで白が2点リード。しかし、すぐさま金#34が3ポイントシュートを決め再逆転をする。残り1分、白のセットオフenseから3ポイントシュートで79-77とし、白が再々逆転。その後互いにオフェンス機会があったものの得点できず、試合終了のブザーが鳴り響く。逆転につぐ逆転のシーソーゲームを79-77の2点差という接戦で白の吹浦クラブが制した。

戦評者

川崎 俊輔